

試聴会・訪問記掲載

河口無線ハイファイディリティ試聴会報告(2018.4.7)

Ortofon の MC カートリッジ「SPU-Classic-GEmk2」他の試聴会に行ってきました。

日時：4月7日(土) PM1:15~PM3:00

会場：3F ハイファイディリティ試聴室

<使用機材>



オルトフォン MC カートリッジ SPU-ROYAL-Gmk II ¥250,560



オルトフォン MC カートリッジ SPU-SYNERGY ¥211,680



オルトフォン MC カートリッジ SPU-Classic-GEmk2 ¥111,240



オルトフォン フォノイコライザーアンプ EQA-999 ¥324,000



アコースティックソリッド アナログプレーヤー SOLID-EDITION ¥1,177,200
(アーム別売)



オルトフォン スタティックバランス S字アーム AS-212S ¥162,000



ラックスマン プリアンプ C-900u ¥1,188,000



ラックスマン パワーアンプ M-900u ¥1,188,000



B&W スピーカーシステム 802D3 ¥3,672,000 (ペア)



当日のセッティング

<試聴の経過>

最初に機材の説明があり、それぞれのカートリッジの特徴の説明をはさみながら、試聴が始まりました。各カートリッジの情報は [Ortofon Japan のサイト](#) に掲載されています。

最初はダブルアームのそれぞれに SPU #1 の丸針と楕円針を装着し、タイスの瞑想曲、美空ひばり、Jazz がかけられましたが、丸針は穏やかな角の取れた音、楕円針は細かい音も拾い、クリーンで切れ味の良い音がしていました。

次に SPU の原形の音を復刻したという位置づけの SPU-Classic-GEmk2 (楕円針) と SPU-Classic-Gmk2 (丸針) の聴き比べとなり、ドビッシーの管弦楽と Jazz がかかりましたが、#1 よりグレードが上がり、やはり丸針は太くて中低域に厚みのある音、楕円針はクリーンで見通しの良い音がしていました。

ここからは、SPU-Classic-GEmk2 を基準として、上位モデルとの比較となり、最初は SPU Synergy との比較試聴が、中島みゆき、シェラザード、Jazz とかかりま

したが、SPU-Classic-GEmk2 はスタンダードであっさりとした感じですが、SPU Synergy は力強く、太い音がしていました。

さらに、SPU-Classic-GEmk2 と SPU-ROYAL-Gmk II との比較試聴に移り、管弦楽、Jazz、美空ひばりとかかりましたが、SPU-ROYAL-Gmk II は解像度も向上し、管弦楽のニュアンスの表現も向上しました。

最後に銀線を使用した SPU Meister Silver MK II で美空ひばりと Jazz がかかりましたが、きらびやかで色彩感に富む音のように感じました。

<まとめ>

Ortofon のカートリッジの各モデルの特徴、丸針と楕円針の違いなど、克明に比較され、それぞれの特徴がよく分かりました。

SPU-SYNERGY は拙宅でも使用しており、モデル番違いの SPU-Classic-G と SPU-ROYAL N も聴いていますので、上記の印象はよく分かります。

全般的には期待していた Ortofon らしい厚みのある豊かな響きが聴けず、淡泊な印象が拭えなかったのは Lux のアンプで駆動していたことによるのではないかという感想を持ちました。常設の Viola ないしは前回の試聴会で使用されたアキュフェーズのアンプだと印象は変わった可能性があります。ショップの担当者によるとショップ常設のケーブルではなく、すべて Ortofon のケーブルで統一されたようなので、そのあたりも関係しているのかもしれませんが。

以上